



【2月のテーマ】

2

気にならない木を気にしてみる冬の散歩道

案内人：伊東茂子、染谷造夫(鳥の博物館市民スタッフ)

観察した鳥類チェックリスト

- | | | | |
|-------------|------------|-----------|-----------|
| ★キジ目 | ★ツル目 | ★ハヤブサ目 | □ ツグミ |
| ・キジ科 | □ クイナ | ・ハヤブサ科 | □ ジョウビタキ |
| □ キジ | □ バン | □ チョウゲンボウ | ・スズメ科 |
| ★カモ目 | □ オオバン | □ ハヤブサ | □ スズメ |
| ・カモ科 | ★チドリ目 | ★スズメ目 | ・セキレイ科 |
| □ オカヨシガモ | ・チドリ科 | ・モズ科 | □ キセキレイ |
| □ ヨシガモ | □ タゲリ | □ モズ | □ ハクセキレイ |
| □ ヒドリガモ | □ ムナグロ | ・カラス科 | □ セグロセキレイ |
| □ マガモ | □ コチドリ | □ カケス | □ タヒバリ |
| □ カルガモ | ・セイタカシギ科 | □ オナガ | ・アトリ科 |
| □ ハシビロガモ | □ セイタカシギ | □ ハシボソガラス | □ カワラヒワ |
| □ オナガガモ | ・シギ科 | □ ハシブトガラス | □ アトリ |
| □ コガモ | □ タシギ | ・シジュウカラ科 | □ ウソ |
| □ ホシハジロ | □ イソシギ | □ ヤマガラ | □ シメ |
| □ キンクロハジロ | ・タマシギ科 | □ シジュウカラ | □ コイカル |
| □ ミコアイサ | □ タマシギ | ・ヒバリ科 | ・ホオジロ科 |
| ★カイツブリ目 | ・カモメ科 | □ ヒバリ | □ ホオジロ |
| ・カイツブリ科 | □ ユリカモメ | ツバメ科 | □ カシラダカ |
| □ カイツブリ | □ セグロカモメ | □ ツバメ | □ アオジ |
| □ カンムリカイツブリ | □ オオセグロカモメ | ・ヒヨドリ科 | □ オオジュリン |
| □ ミミカイツブリ | ★タカ目 | □ ヒヨドリ | □ |
| □ ハジロカイツブリ | ・ミサゴ科 | ・ウグイス科 | □ |
| ★ハト目 | □ ミサゴ | □ ウグイス | □ |
| ・ハト科 | ・タカ科 | ・エナガ科 | □ |
| □ キジバト | □ トビ | □ エナガ | □ |
| ★カツオドリ目 | □ チュウヒ | ・メジロ科 | |
| □ カワウ | □ ツミ | □ メジロ | (外来種や家禽) |
| ★ペリカン目 | □ ハイタカ | ・ヨシキリ科 | □ コブハクチョウ |
| ・サギ科 | □ オオタカ | □ オオヨシキリ | □ バリケン |
| □ ヨシゴイ | □ ノスリ | ・セッカ科 | □ ガチョウ |
| □ ゴイサギ | ★ブッポウソウ目 | □ セッカ | □ アヒル |
| □ アマサギ | ・カワセミ科 | ・ムクドリ科 | □ ドバト |
| □ アオサギ | □ カワセミ | □ ムクドリ | |
| □ ダイサギ | ★キツツキ目 | ・ヒタキ科 | |
| □ チュウサギ | ・キツツキ科 | □ シロハラ | |
| □ コサギ | □ コゲラ | □ アカハラ | |



▲ハンノキの枝先の花穂。

冬の散歩道沿いでは、葉を落とした樹木が春を迎える準備をしています。冬芽の形や色は種類によってさまざまです。また、木の幹や枝先をよく見てみると、樹木と共に生活する生きものやその生活の痕跡を見つけることができます。

今回は、普段気にすることのない木をじっくり観察し、木の種類ごとの特徴や、木を利用する生きものを観察してみましよう。

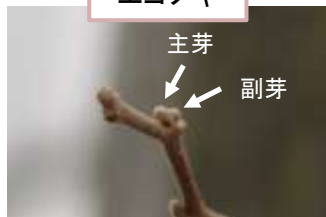
2017年2月11日(土)

てがたんルート of 樹木観察

博物館周辺や、手賀沼遊歩道で見られる樹木の冬芽を観察してみましょう。花や果実が残っている種類もあります。

冬芽

エゴノキ



ヤブツバキ



ケヤキ



ムクノキ



ミズキ



カツラ



花・果実

ハンノキ



サルスベリ



冬の樹木を利用する生きもの

昆虫・クモ

木の枝先や葉の表面などを探すと、昆虫やクモの卵やさなぎなど、木を利用して冬を過ごす姿が観察できます。

チャミノガ



オオカマキリの卵のう



イラガの繭



クモの仲間の卵のう



コケ類・地衣類

木の幹に生えているコケ類や地衣類を探してみましょう。また、これらが多く生えている木とそうでない木を比べてみましょう。

コケ類



地衣類

